

白井市第6次総合計画  
前期基本計画素案(5/30)



### Ⅲ. 前期基本計画

#### 1. 前期基本計画の概要

- 1.1 計画の位置づけ
- 1.2 計画の構成
- 1.3 計画の期間
- 1.4 計画の体系
- 1.5 財政の見通し

2. 将来像の実現に向けた施策体系図（別紙）

### 3. 目指すまちの実現に向けた施策の柱と施策

#### 3.1 若い世代が定住したいまち

目的	若い世代が継続して居住し、人口構造のバランスがよいまちを目指します。
方針	そのために、就学、就職、結婚、出産、子育てなどのライフステージの変化があっても、若い世代が安心・健康・快適にらせる環境づくりを推進します。また、白井市で子育てをしたいと思える充実した教育環境づくりを推進します。

##### (1) 目指すまちに向けた目標

若い世代は、結婚や出産といったライフステージの変化に対して、生活環境の変化や経済的な負担などへの不安を感じており、ライフイベントを安心して迎えられることが重要です。また、共働きやひとり親など、様々な事情を抱えながら子育てをしている若い世代の負担を軽減するためには、子育てしやすい環境を整えることが重要です。さらには、白井市で子育てをしたいと思う若い世代の定住を促進するためには、魅力的な教育環境を整えることが重要です。

以上より、若い世代が定住したいまちに向けた目標を掲げます。

目標 1-1 ライフイベントを安心して迎えられるまち

目標 1-2 子育てしやすいまち

目標 1-3 魅力的な教育で住みたくなるまち

##### ◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
ライフイベントを安心して迎えられるまち	総人口に占める年少人口の割合	10.6%	11.4% 令和7年	市資料
	総人口に占める生産年齢人口の割合	59.6%	59.7% 令和7年	市資料
	合計特殊出生率		1.17 令和4年	厚生労働省公表値
子育てしやすいまち	子育てにおける満足度		9.0% 令和6年	住民意識調査
魅力的な教育で住みたくなるまち	教育における満足度		8.0% 令和6年	住民意識調査

(2) 目標に対する施策

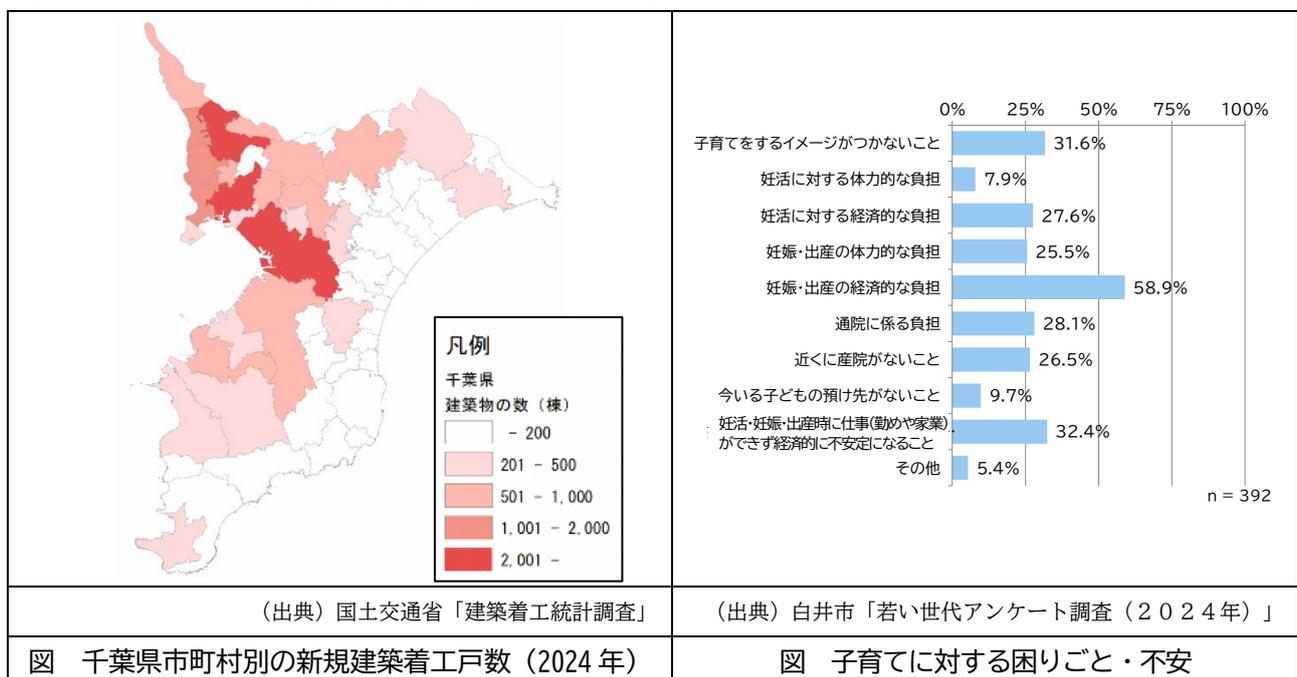
目標 1-1 ライフイベントを安心して迎えられるまち

【現況】

就職や結婚、子育てなど、ライフステージの変化によって居住形態が変化していくことが想定されますが、白井市では様々な居住形態に応じた居住環境の受け皿が不足しています。

また、結婚や出産・子育てには、経済的・心理的な負担がかかります。白井市においても、妊娠や出産、子育ての経済的な負担や、ライフステージの変化に伴う仕事などへの支障といった負担を感じている人が多くいます。

一方、白井市や印西市といった千葉ニュータウンエリアでは、強固な地盤などの災害への強さから再開発エリアとして注目され始めています。また、成田空港の拡張や北千葉道路の整備が進むと、各地へのアクセス性が高まることから、より一層開発需要が高まることが期待されます。



【施策】

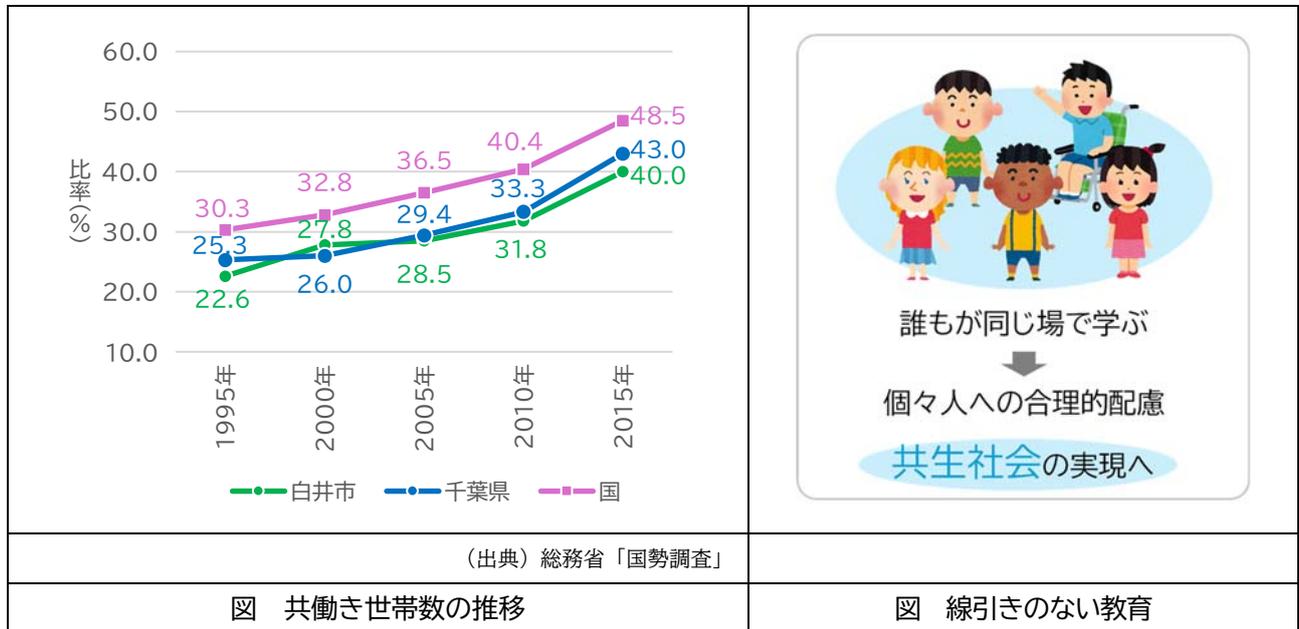
- 若い世代に向けた住環境の整備
- 出会いから出産までのライフイベントを安心して迎えるための支援

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 目標 1-2 子育てしやすいまち

##### 【現況】

ライフスタイルの多様化や共働き家庭の増加など、子育て世代が抱える事情が多様化し、子どもを育てるハードルの一因となっています。様々な事情に配慮した、すべての子どもが共に学ぶ機会や、子育てしやすい環境が望まれています。



##### 【施策】

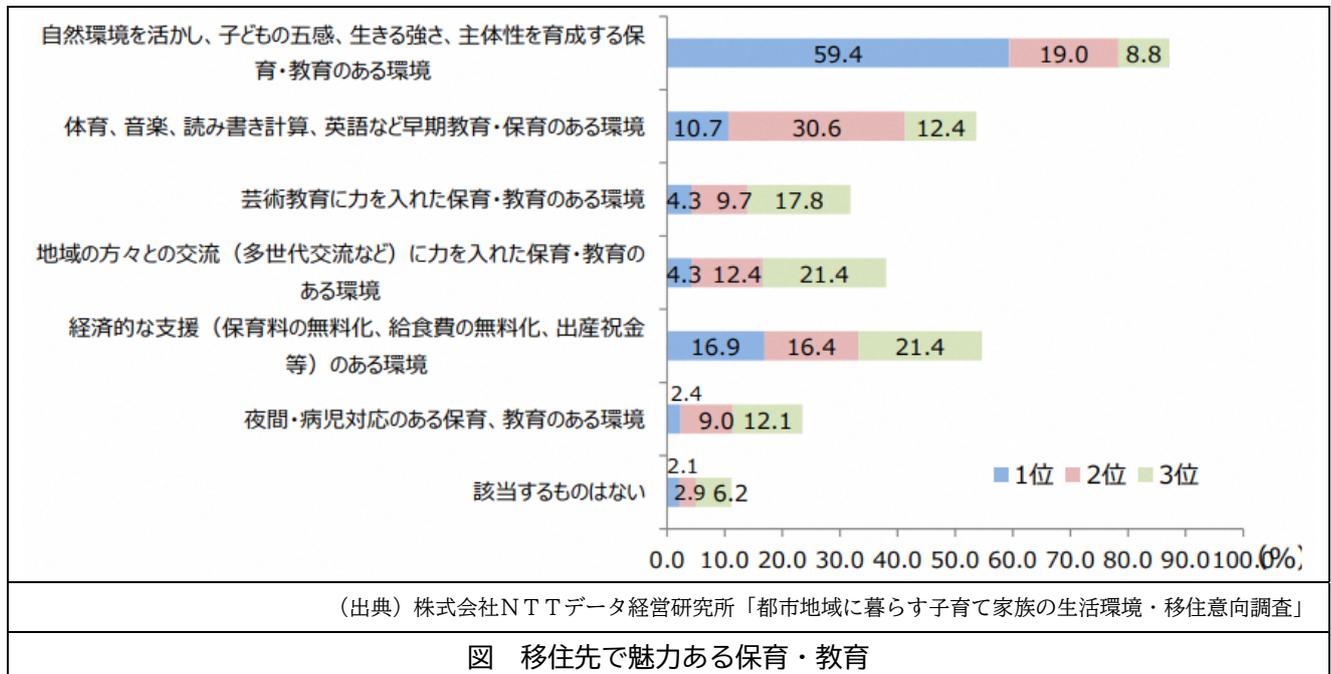
- 線引きのない教育・保育の推進
- 育児と仕事が両立できるような働きやすい環境づくりの推進

目標 1-3 魅力的な教育で住みたくなるまち

【現況】

ライフスタイルの多様化等によって、地方での暮らしを希望する若者や子育て世代が増える中で、「魅力的な教育環境」は移住先として選ばれる重要な要素の一つとなっています。

地域の特色や多様な人材を活かし、地域社会の課題を通じて、コミュニケーション能力や問題解決能力を育むことで、未来の人材育成につながる経験ができる教育環境の充実が望まれています。



【施策】

- 様々な経験を通じ、生きる力が身に着く教育の推進
- 魅力的な教育設備による教育の推進

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (3) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。

	施策の柱(施策の目標)	施策
若い世代が定住したいまち	1.ライフイベントを安心して迎えられるまちづくり	(1) 若い世代に向けた住環境の整備
		(2) 出会いから子育てまでのライフイベントを安心して迎えるための支援
	2.子育てしやすいまちづくり	(1) 線引きのない教育・保育の推進
		(2) 育児と仕事が両立できるような働きやすい環境づくりの推進
	3.魅力的な教育で住みたくなるまちづくり	(1) 様々な経験を通じ、生きる力が身につく教育の推進
		(2) 魅力的な教育設備による教育の推進

(4) 施策の概要と目標

目標 1-1 ライフイベントを安心して迎えられるまち

施策 1-1-1 若い世代に向けた住環境の整備

中心都市拠点・生活拠点を中心とした新たな住宅の整備や快適に過ごせる公園の整備を推進します。また、既存の良好な住環境を知ってもらう取組や住環境の良さを知っている方に戻ってきてもらう取組を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
若い世代の転入数			人口移動実態調査

※若い世代:50歳未満の方

施策 1-1-2 出会いから出産までのライフイベントを安心して迎えるための支援

白井市で育った若い世代がそのまま市内を拠点に活動しやすくなるための支援をします。また、結婚に向けた活動の支援や子どもを望む家庭に寄り添う取組を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
若い世代の転出数			人口移動実態調査
婚姻数			市資料
出生数			市資料

目標 1-2 子育てしやすいまち

施策 1-2-1 線引きのない教育・保育の推進

乳幼児が、保護者の就労の有無にかかわらず幼児教育を受けられるよう、幼児教育と保育の一体的な提供を推進します。また、幼児教育・保育における障がいの有無による隔たりをなくす取組や家庭環境によらない家庭教育の支援を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
子育ての環境づくりの満足度			住民意識調査
学習支援事業の満足度			利用者アンケート

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 施策 1-2-2 育児と仕事が両立できるような働きやすい環境づくりの推進

不足する保育人材の確保に取り組み保育園の受け入れ体制の強化を推進します。また、学童保育所の受け入れ体制の確保や白井市内や近隣地域での就労を支援することで、自宅と職場との距離を近くし、仕事と子育てを両立しやすくする取組を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
保育園待機児童数			白井市担当課調べ
学童保育所待機児童数			白井市担当課調べ

#### 目標 1-3 魅力的な教育で住みたくなるまち

##### 施策 1-3-1 様々な経験を通じ、生きる力が身につく教育の推進

地域の多様な人材を活用しながら、様々な分野の教育ができる環境の整備を推進します。また、学校運営に地域の声を積極的に活かし、地域と一体となった特色ある学校づくりや市の特色を活かした様々な学習の機会を提供できる仕組みづくりを推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
小・中学校での教育・指導内容満足度			住民意識調査
地域の教育資源を活用した開かれた学校づくり満足度			住民意識調査

##### 施策 1-3-2 魅力的な教育設備による教育の推進

情報通信技術（ICT）を活用した教育設備を活かして、児童・生徒の表現力を広げる取組や学習の効率化などを推進します。また、児童・生徒や教職員がより安全で快適に学校生活を送れるように、学校での教育環境の向上を図ります。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
学校施設の整備・安全対策満足度			住民意識調査

### 3.2 誰もが交流し支え合えるまち

目的	多様な主体が交流し相互理解を深め、共に支え合うことで地域課題を解決できるまちを目指します。
方針	そのために、それぞれが連携し新たな居場所や交流の場の創出を進めるとともに、多くの人々がまちづくりへ参画できる仕組みづくりを推進します。また、既存の施設を有効活用した地域活動の活性化や誰もが気軽に移動できる環境づくりを推進します。

#### (1) 目指すまちに向けた目標

地域の抱える課題が多様化する中で、地域ごとに固有の課題を解決していくためには、地域が丸となって自ら地域課題を解決する力をつけていくことが求められます。そのためには、地域コミュニティの役員不足などの課題に対応しながら、地域のつながりを高めていくことが重要です。

また、地域力を高めるためには、日頃から住民同士が交流する場や住民の居場所づくりが不可欠です。

以上より、誰もが交流し支え合えるまちに向けた目標を掲げます。

目標 2-1 互いに支え合いながらいきいきと活躍し続けられるまち

目標 2-2 あらゆる人の居場所・交流の場が生まれるまち

#### ◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
互いに支え合いながらいきいきと活躍し続けられるまち	市民活動・協働の取組の満足度(「満足」又は「やや満足」の割合)		5.9% 令和5年	住民意識調査
	差別、偏見、虐待などを防止する人権対策の取組の満足度(「満足」又は「やや満足」の割合)		4.2% 令和5年	住民意識調査
あらゆる人の居場所・交流の場が生まれるまち	放課後・仕事後・余暇に遊びに行く場所が「白井市内」である割合		12.0% 令和5年	住民意識調査

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (2) 目標に対する施策

##### 目標 2-1 互いに支え合いながらいきいきと活躍し続けられるまち

##### 【現況】

近年、高齢者や障がいのある者、外国籍の人々など、様々な背景を持つ人々が全て分け隔てなく暮らしていくことのできる共生社会の実現が求められています。共生社会に向けて地域の多様なニーズに答えるためには、行政だけでなく、地域が主体となって、共に支え合うことで地域課題を解決しなければなりません。一方で、ワークショップでは、地域コミュニティの「担い手不足」を課題と感じるという意見が挙がっており、多様なコミュニティへの関わりを許容しながら、共に支え合える仕組みを模索していく必要があります。

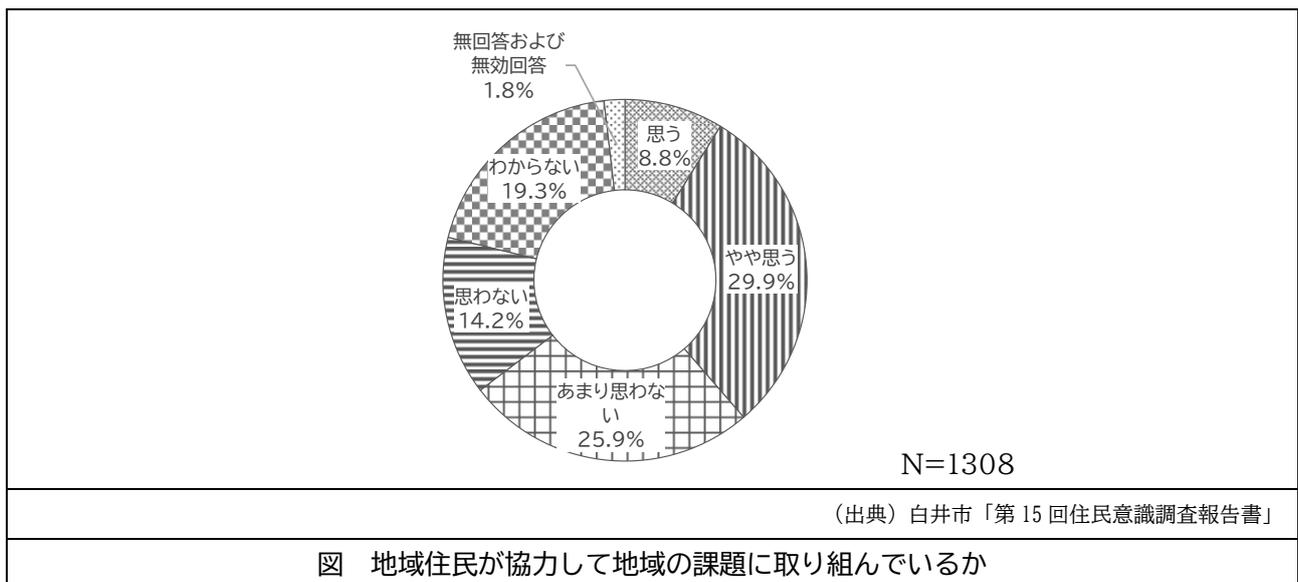


図 地域住民が協力して地域の課題に取り組んでいるか

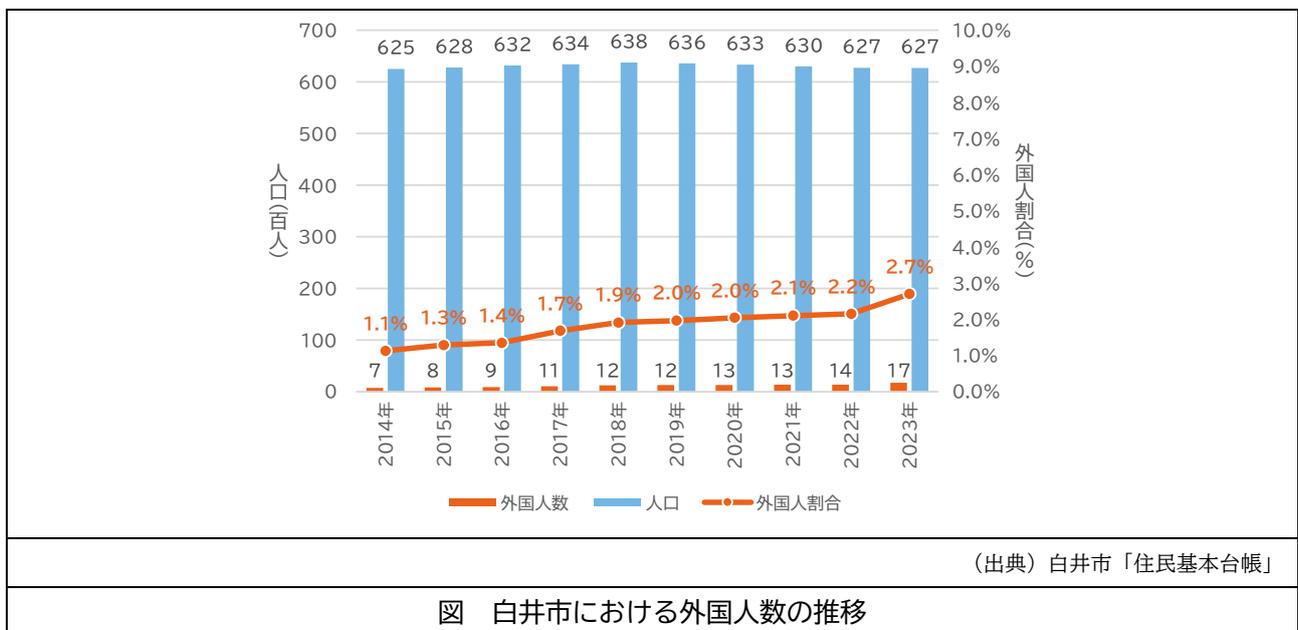


図 白井市における外国人数の推移

##### 【施策】

- 共に支え合うことで地域課題を解決できる仕組みづくり
- 共生社会に向けた互いを知る機会の創出

目標 2-2 あらゆる人の居場所・交流の場が生まれるまち

【現況】

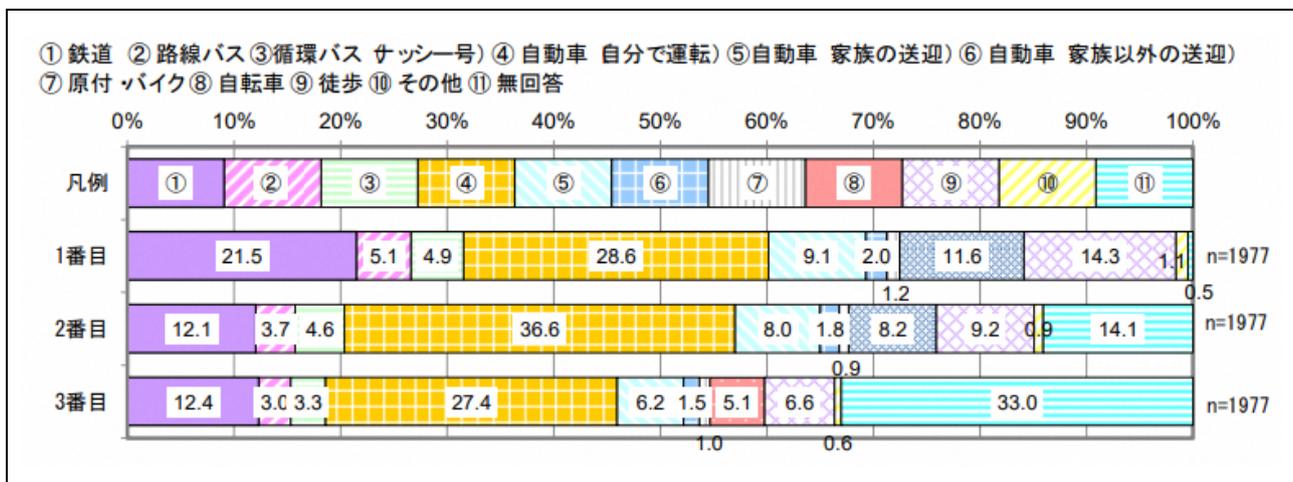
様々な人々が集まり、交流するためには、居場所・交流の場づくりや機会を作る必要があり、ワークショップでも「誰もが気軽に交流できる場の創出」を求める意見が挙がっています。地域ボランティアで運営する子ども食堂では、食材の配布や食事の提供だけでなく、農業体験やレクリエーションを通じた居場所・交流の場づくりを行っています。

また、白井市民の主な移動手段はクルマが最も多く、高齢者は免許返納後に移動することが難しくなります。誰もが気軽に移動できる環境を整えることで、居場所・交流の場に参加しやすくなり、地域交流の促進につながります。



(出典) しろいまっち

図 しろいワクワクひろば



(出典) 白井市「白井市地域公共交通網形成計画」

図 頻度別交通手段

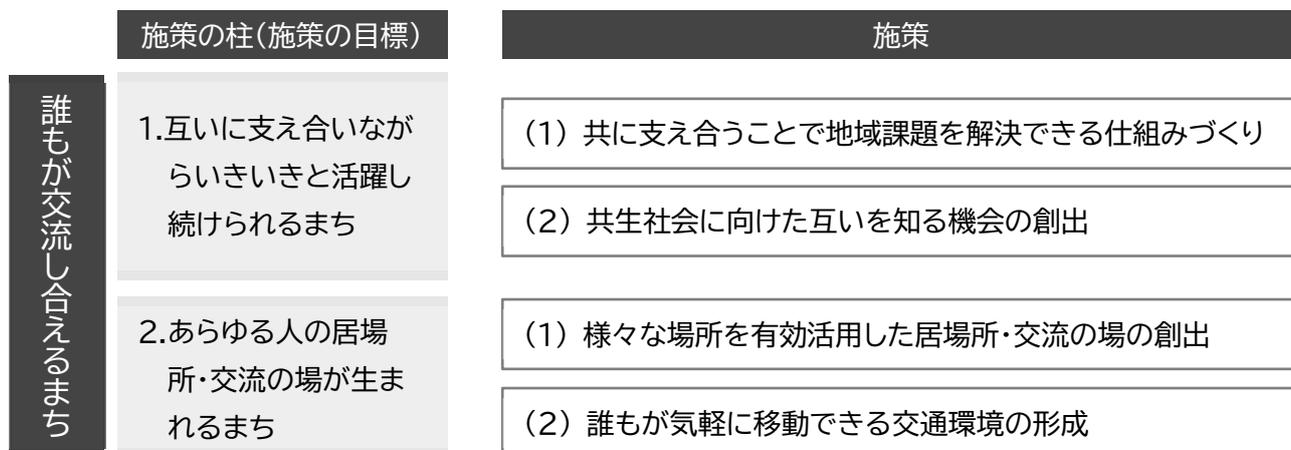
【施策】

- 様々な場所を有効活用した居場所・交流の場の創出
- 誰もが気軽に移動できる交通環境の形成

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (3) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。



(4) 施策の概要と目標

目標 2-1 互いに支え合いながらいきいきと活躍し続けられるまち

施策 2-1-1 共に支え合うことで地域課題を解決できる仕組みづくり

地域の課題を地域住民の自助・共助により解決できる仕組みづくりを推進します。また、日常生活を送るうえでサポートが必要な方に対して、互いに支え合う支援体制づくりを推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
小学校区まちづくり協議会の設立数			白井市担当課調べ
地域ぐるみネットワークふれあい会議 延べ参加人数			白井市担当課調べ

施策 2-1-2 共生社会に向けた互いを知る機会の創出

共生社会を実現するために多様な人々と交流し、互いを知る機会を創出する取組を推進します。また、日常生活での困りごとを減らし、安心して快適に暮らすことができるように支援する取組を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
交流イベント参加者数			白井市担当課調べ
障がいのある人を支援する活動に参加している人の割合			住民意識調査

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 目標2-2 あらゆる人の居場所・交流の場が生まれるまち

##### 施策 2-2-1 様々な場所を有効活用した居場所・交流の場の創出

自然環境や交通環境など地域の特性を活かした居場所・交流の場を創設する取組を推進します。また、既存の場所を有効活用して境遇に寄らず、子ども・若者が交流できる場を創出する取組やあまり知られてなく訪れてほしい場を知る機会を創出する取組を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
新たな交流拠点の整備着手数※			白井市担当課調べ
地域の居場所数			白井市担当課調べ

※地区まちづくり協議会と開発事業者との協定締結数

##### 施策 2-2-2 誰もが気軽に移動できる交通環境の形成

地域の実状に即した移動手段を充実させる取組を推進します。また、道路や歩道の安全性の確保や渋滞を緩和するための道路環境の改善を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
公共交通機関による人口カバー率			白井市担当課調べ
路線バス・コミュニティバスその他乗合交通機関の日運行本数			白井市担当課調べ

### 3.3 自ら学び育ちチャレンジできるまち

目的	一人ひとりが自ら学び育ち、自らの能力を発揮するためにチャレンジし、生きがいを持って暮らすことができるまちを目指します。
方針	そのために、子どもから高齢者まで、生涯にわたって成長できる環境づくりを進めるとともに、一人ひとりが地域の活性化につながる活動に挑戦できる仕組みづくりを推進します。また、多くの市民が、心身の健康を保ち・増進できる環境づくりを推進します。

#### (1) 目指すまちに向けた目標

市民が自らスキルを習得し、新たにチャレンジしていくことは、地域の活力を高めるとともに、個人のいきがいにつながります。市民の学びを促進するためには、心身ともに健やかな生活を支援するとともに、健康づくりや体験を通じた学びの場を提供することが重要です。また、アイデアを自由に発揮する機会があり、アイデア実現を支援する基盤があることで、習得した知識やスキルを活かし、新しいことへのチャレンジの促進につながると考えられます。

以上より、自ら学び育ちチャレンジできるまちに向けた目標を掲げます。

目標 3-1 年齢にかかわらず学べるまち

目標 3-2 誰もがチャレンジできるまち

#### ◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
年齢にかかわらず学べるまち	生涯学習活動の支援の満足度(「満足」又は「やや満足」の割合)		8.4% 令和5年	住民意識調査
誰もがチャレンジできるまち	地域住民が協力して地域の課題に取り組んでいると思う割合(「思う」または「やや思う」割合)		38.7% 令和5年	住民意識調査

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (2) 目標に対する施策

##### 目標 3-1 年齢にかかわらず学べるまち

###### 【現況】

白井市の要支援・要介護認定者数は、将来的に増加が見込まれています。高齢化が進む中、身体的な健康だけでなく、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送るために、健康寿命を延ばす取り組みが注目されています。いつまでもいきいきと暮らすためには、子どもの頃から健康づくりや生活習慣病の予防に関心を持ち、取り組む必要があります。白井市では、近隣市町村と比較して高齢者の要介護・要支援認定率が低いですが、高齢化が進む中では引き続き健康意識の向上を目指した活動に力を入れていく必要があります。

また、生涯にわたって学び続けることは、自己成長だけでなく、社会的つながりや健康維持、自己実現、柔軟な思考を通じて、生きがいをみつけるための重要な手段となります。

<table border="1"> <caption>白井市の平均寿命と健康寿命 (平成29年)</caption> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>平均寿命 (歳)</th> <th>健康寿命 (歳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>約82</td> <td>約80</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>約87</td> <td>約83</td> </tr> </tbody> </table>	性別	平均寿命 (歳)	健康寿命 (歳)	男性	約82	約80	女性	約87	約83	
性別	平均寿命 (歳)	健康寿命 (歳)								
男性	約82	約80								
女性	約87	約83								
(出典) 白井市健康課	(出典) 白井市担当課									
<p>図 白井市の平均寿命と健康寿命 (平成29年)</p>	<p>図 放課後子ども教室 (NEC グリーンロケッツ東葛による タグラグビー体験)</p>									

###### 【施策】

- ライフステージを通じた健康づくりの推進
- 体験を通じた学びの場の創設

目標 3-2 誰もがチャレンジできるまち

【現況】

誰もがチャレンジできる基盤を整える上では、まず、協働事業提案制度の整備や、市内小中学校を対象としたスクールサミットの開催など、まちづくりに寄与するアイデアを市民が自由に表現できる機会を創出する必要があります。また、発想されたアイデアを実現するためには、多様な主体がそれぞれのスキルを活かし、連携していくことが不可欠です。



(出典) しろいまっち

図 子ども向けワークショップから実現した屋台の出店

【施策】

- アイディアを表現できる機会の創出
- スキルを活かせる機会の創出

(3) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。

施策の柱(施策の目標)		施策
チャレンジできるまち 自ら学び育ち	1.年齢にかかわらず学べるまちづくり	(1) ライフステージを通じた健康づくりの推進
		(2) 体験を通じた学びの場の創設
	2.誰もがチャレンジできるまちづくり	(1) アイディアを表現できる機会の創出
		(2) スキルを活かせる機会の創出

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (4) 施策の概要と目標

##### 目標 3-1 年齢にかかわらず学べるまち

##### 施策 3-1-1 ライフステージを通じた健康づくりの推進

市民が健康づくりを学び、取り組む一歩を踏み出すきっかけをつくるために、自身の健康状態を知る機会をつくる取組を推進します。また、運動する機会の創出や自主的にフレイル予防や介護予防へ取り組む仕組みづくりを推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
健康寿命			白井市担当課調べ

##### 施策 3-1-2 体験を通じた学びの場の創設

セカンドライフを前向きに楽しむために夢や目標を持ち、仲間づくりや生きがいづくりを兼ねた学習の場の創出を推進します。また、様々な体験を通じ、子どもの将来の夢を広げる活動を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
生涯学習事業の参加率※			白井市担当課調べ

※各イベント等の定員に対する参加率

目標 3-2 誰もがチャレンジできるまち

施策 3-2-1 アイディアを表現できる機会の創出

まちづくりに寄与するアイディアを持つ人がそのアイディアを表現し実現に向けてチャレンジできる制度を整備します。また、子どもが主体となって子どもの視点ならではのアイディアを表現できる場を整備します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
アイディアの提案数※			白井市担当課調べ

※協働事業提案制度とスクールサミットによる提案事業数

施策 3-2-2 スキルを活かせる機会の創出

市民や市に関する人が新たな目標に向かってチャレンジしやすくする仕組みづくりを推進します。また、情報発信などによりチャレンジしたくなるパッションを刺激する取組を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
まちサポによる人材育成に関する講座数			白井市担当課調べ

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 3.4 白井らしい環境を活かすまち

目的	自然環境と都市環境が調和する「白井らしさ」を持つ資源を活かし、次世代に継承されるまちを目指します。
方針	そのために、「白井らしさ」を持つ資源を発掘・共有し、自然環境の保全や利活用を進めるとともに、持続可能な農業を実現し、みんなが誇りに思える白井市の特産品を後世に残す取組を推進します。

##### (1) 目指すまちに向けた目標

千葉ニュータウン事業で造成された地域では、美しい街並みや落ち着いた雰囲気などからもたらされる「住みやすさ」が、市民が感じる「白井らしさ」の一つとなっています。白井市を取り巻く環境の変化を見据えつつ、住みやすさを継承するために、都市機能を更新していくことが求められています。

また、谷津をはじめとした自然環境や農地、都市部での公園・緑道など、みどりの豊かさも「白井らしさ」の一つです。持続可能な農業や、自然環境の保全と活用など、人の営みを持続させながら白井市の豊かなみどりを継承していく方法を模索していくことが重要です。

以上より、白井らしい環境を活かすまちに向けた目標を掲げます。

目標 4-1 魅力的な住環境が充実するまち

目標 4-2 人とみどりが調和するまち

##### ◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
魅力的な住環境が充実するまち	住環境の満足度 (「住みやすい」「どちらかという住みやすい」と感じる人の割合)		66.9% 令和5年度	住民意識調査
人とみどりが調和するまち	市内のみどりの保全や活用に参加する市民の割合		5.4% 令和5年度	住民意識調査
	里山や河川など自然環境の保全の満足度(「満足」「やや満足」の割合)		13.3% 令和5年度	住民意識調査

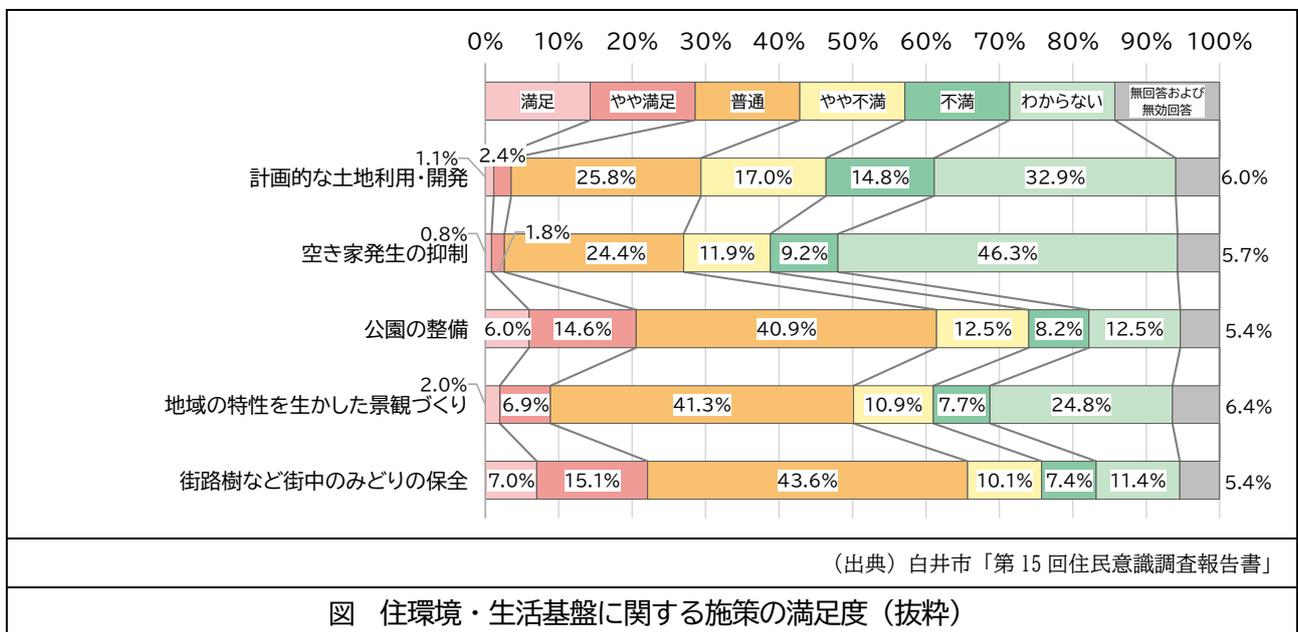
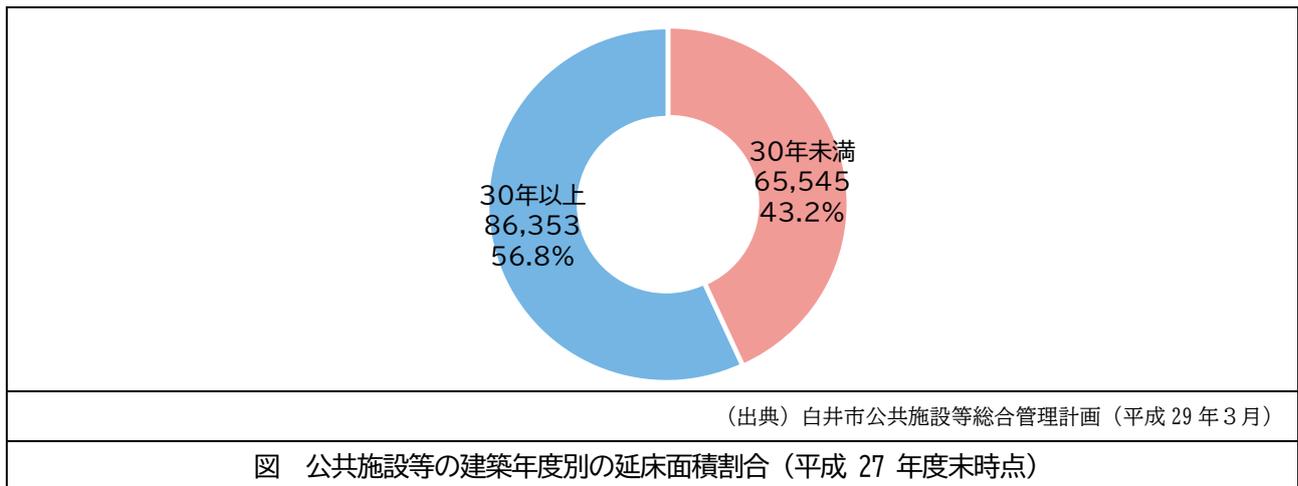
(2) 目標に対する施策

目標 4-1 魅力的な住環境が充実するまち

【現況】

白井市は千葉ニュータウン事業から40年以上が経過し、建物の老朽化が進んでいます。市民ニーズや社会潮流を踏まえながら、必要な機能を備えたニュータウンの再生を進めていくことが求められます。

また、良好な住環境や豊かなみどりなどの地域の特性を生かした景観づくりが求められる一方で、景観づくりの関心度は低く、景観づくりへの関心を高め、市民等と一緒に取組むことが重要です。



【施策】

- ニュータウンの再生に向けた住環境の整備
- 美しい景観の保全と活用

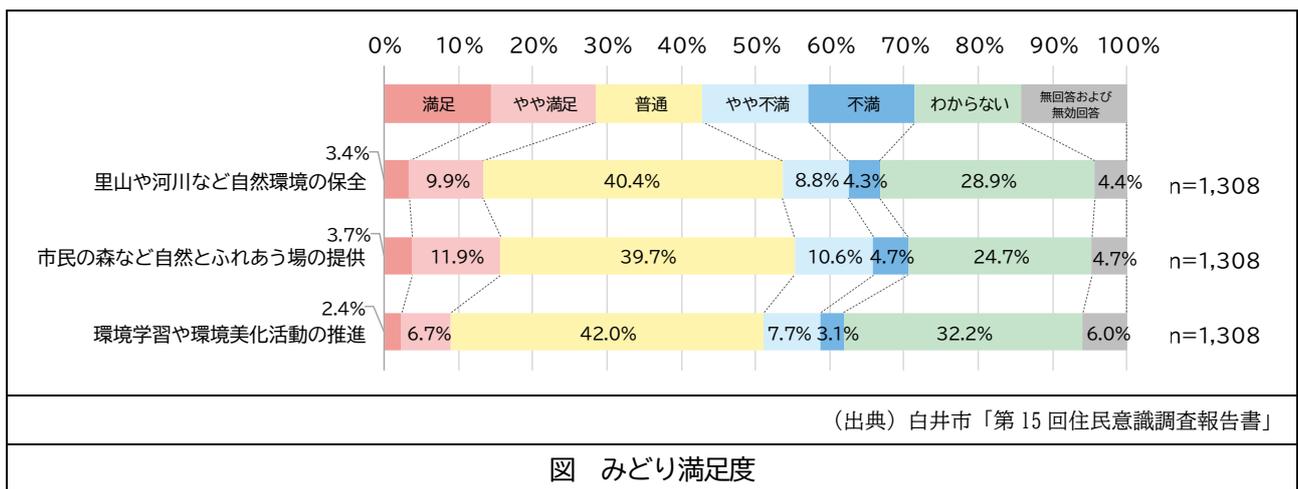
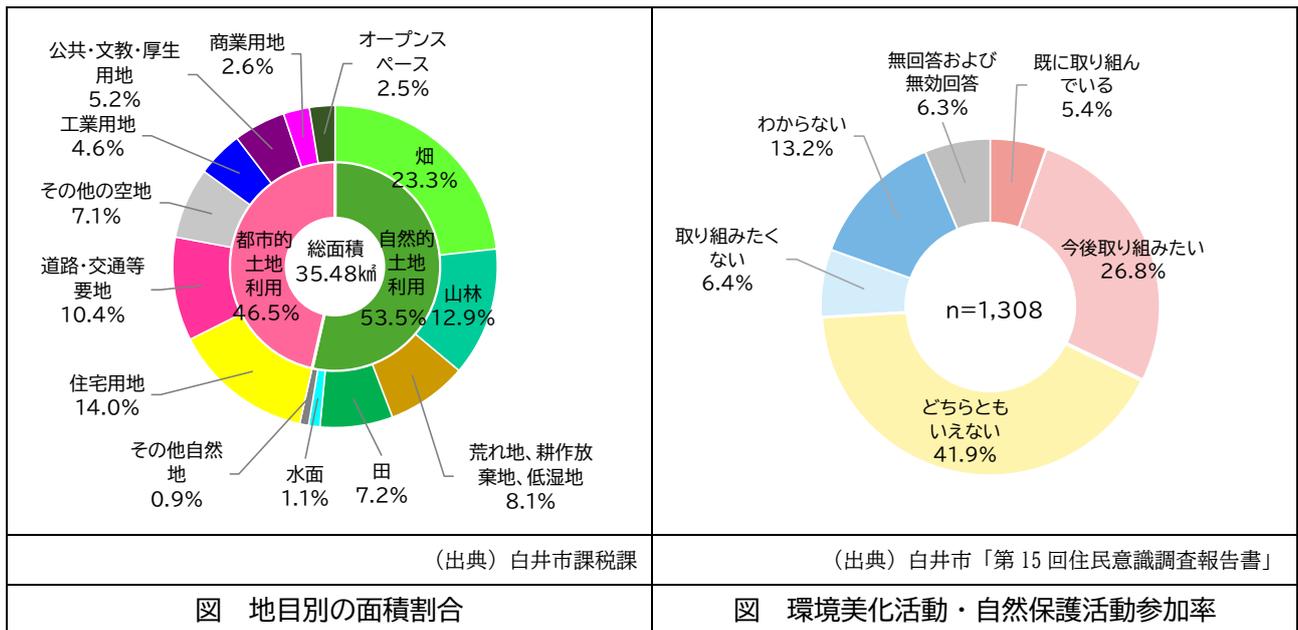
### Ⅲ. 前期基本計画

#### 目標 4-2 人とみどりが調和するまち

##### 【現況】

白井市は梨を中心とした農業が盛んですが、産業構造の変化や担い手不足によって、農を中心とした営みが衰退しつつあります。

また、近年、様々な国際会議や国の目標として、自然環境の保全や都市緑化の推進が重要視されています。しかし、環境美化活動・自然保護活動に参加する市民の割合は約5%に留まっています。また、みどりに関する満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて10%前後となっており、「不満」「やや不満」よりも低くなっている項目もあります。



##### 【施策】

- 持続可能な農業の実現
- 豊かな自然環境を享受するための保全と活用の促進

(3) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。

白井らしい環境を 活かすまち	施策の柱(施策の目標)	施策
	1. 魅力的な住環境が 充実するまち	(1) ニュータウンの再生に向けた住環境の整備
2. 人とみどりが調和 するまち	(2) 美しい景観の保全と活用	
	(1) 持続可能な農業の実現	
	(2) 豊かな自然環境を享受するための保全と活用の促進	

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (4) 施策の概要と目標

##### 目標 4-1 魅力的な住環境が充実するまち

##### 施策 4-1-1 ニュータウンの再生に向けた住環境の整備

白井駅・西白井駅周辺に必要な機能やニーズ等を熟考した再開発に向けての取組を推進します。  
また、空き家の市場への流通支援やマンション等の老朽化に対する支援を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
市街化区域の新築戸数			白井市担当課調べ

##### 施策 4-1-2 美しい景観の保全と活用

美しい景観を守り、作り、育てる取組を推進します。また、ゴミの不法投棄を防止し、きれいなまちを維持する取組や公共の場の破損箇所などを素早く対応できる仕組みづくりを推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
地域の特性を生かした景観づくりの満足度			住民意識調査

目標 4-2 人とみどりが調和するまちづくり

施策 4-2-1 持続可能な農業の実現

生産性に寄与する次世代技術の活用を模索し、収益性の高い産業にするための取組を推進します。また、農業従事者を増やす取組や新規就農の金銭的なハードルを下げるための農地の斡旋等に寄与する仕組みづくりを推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
耕地面積			白井市担当課調べ
荒廃農地の面積			白井市担当課調べ

施策 4-2-2 豊かな自然環境を享受するための保全と活用の促進

自然を活かし、自然の中で過ごせる場所を創出する取組を推進します。また、自然を知り、大切さを学ぶ機会を創出する取組を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
市民の森など自然とふれあう場の提供満足度(「満足」「やや満足」の割合)		15.6% 令和5年度	住民意識調査
環境学習や環境美化活動の推進満足度(「満足」「やや満足」の割合)		9.1% 令和5年度	住民意識調査

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 3.5 新しい産業が栄えるまち

目的	分野を超えた連携などによって、新たな産業とともに発展するまちを目指します。
方針	そのために、既存の産業が持続的に発展しつつ、互いの強みや白井市の特性を活かした新しい産業の振興を推進します。

##### (1) 目指すまちに向けた目標

白井市が持続的に発展していくためには、産業の活性化が不可欠です。白井市の既存産業では、担い手の確保や産業インフラの整備といった課題を抱える中で、持続的な産業のあり方を見直していくことが求められています。

また、成田空港拡張や北千葉道路の整備によるアクセス性の向上、ライフスタイルの多様化などを好機として、産業における新たな需要も期待されます。

以上より、新しい産業が栄えるまちに向けた目標を掲げます。

目標 5-1 地域産業が振興するまち

目標 5-2 新たな産業でにぎわうまち

##### ◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
地域産業が振興するまち	製造品出荷額		1280 億円 令和4年	経済センサス(国)
	農業産出額		29 億円 令和3年	農林業センサス(国)
新たな産業でにぎわうまち	市内の事業従事者数		19,980 人 令和3年	経済センサス(国)
	市内の事業所数		1,704 事業所 令和3年	経済センサス(国)

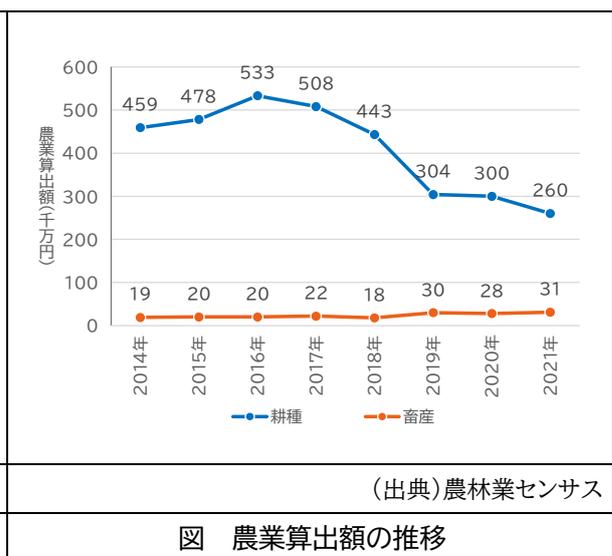
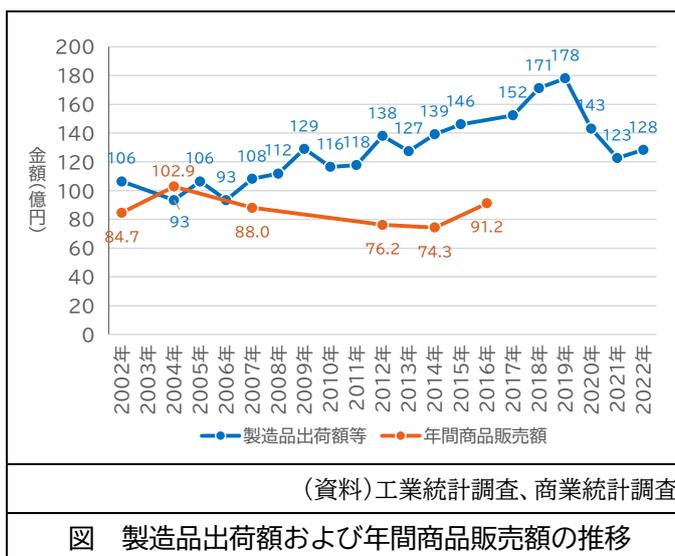
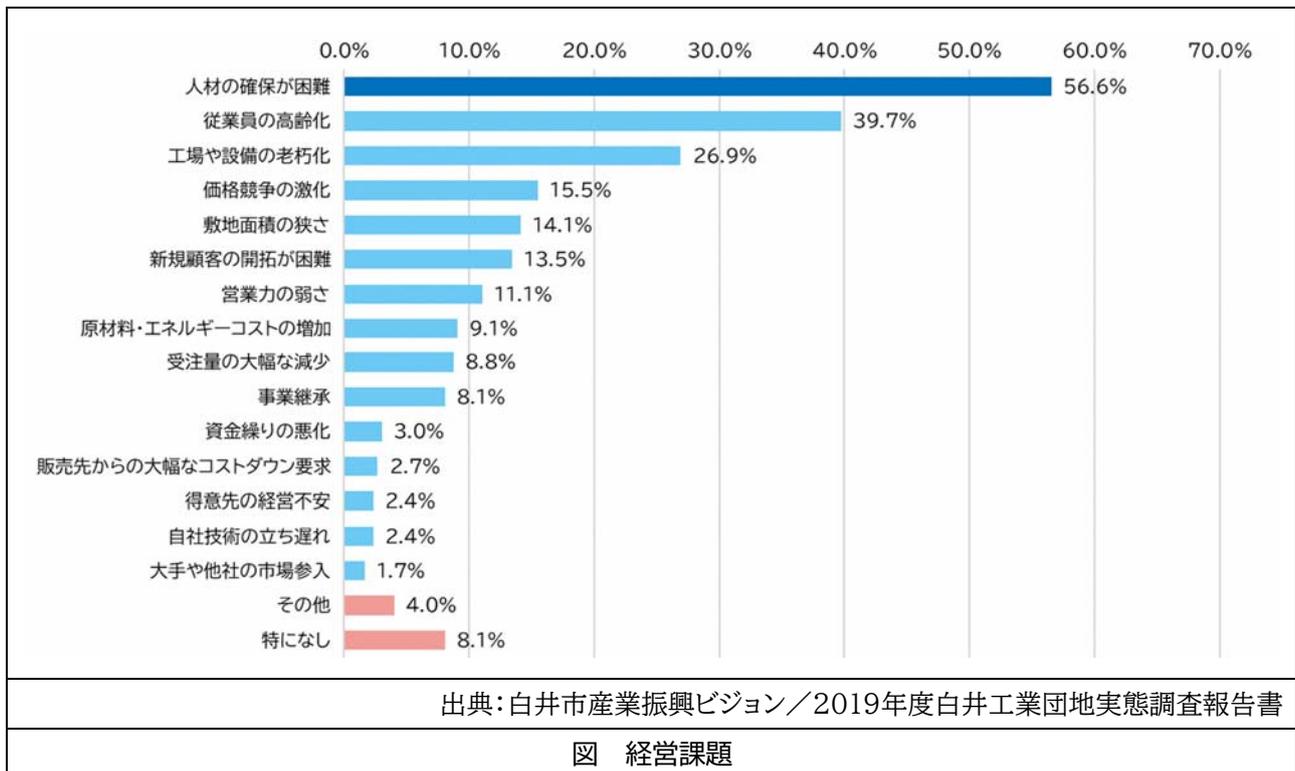
(2) 目標に対する施策

目標 5-1 地域産業が振興するまち

【現況】

白井市は平成30年(2018年)に人口が減少に転じ、少子高齢化が進行しています。これによって、労働力の確保や地域経済の活力維持が課題となっています。

市の産業は、製造品出荷額は令和元年(2019年)まで増加傾向でしたが、コロナ化で減少しています。農業産出額は、耕種が平成28年(2016年)以降減少しています。



【施策】

- ・ 市内産業の振興
- ・ 産業機能の向上の推進

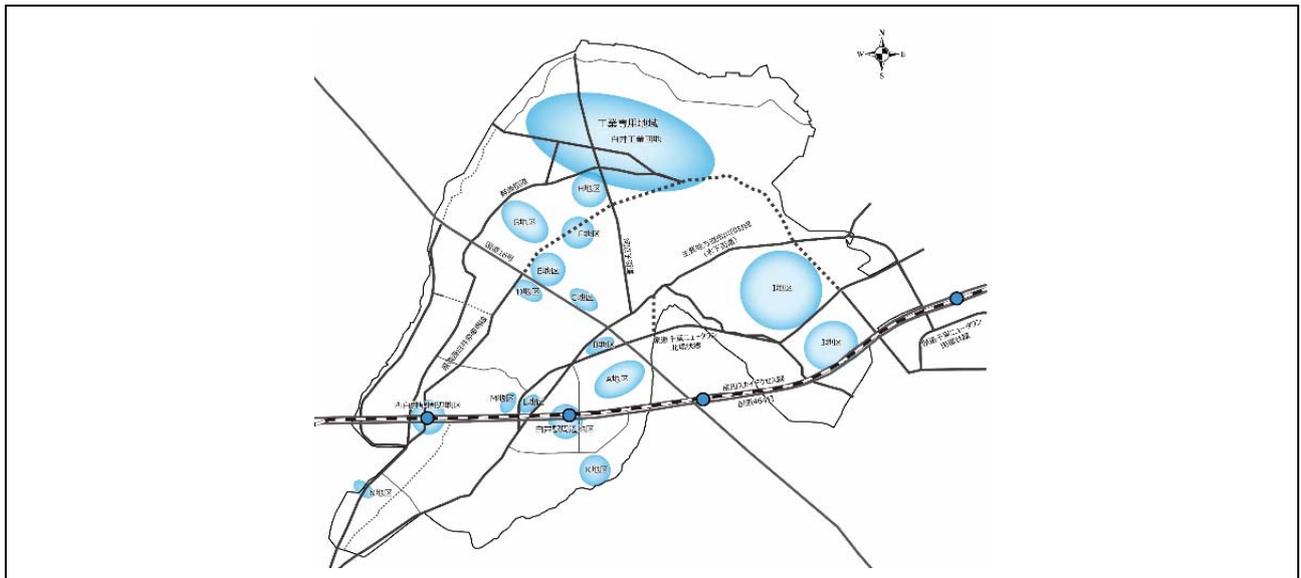
### Ⅲ. 前期基本計画

#### 目標 5-2 新たな産業が創出するまち

##### 【現況】

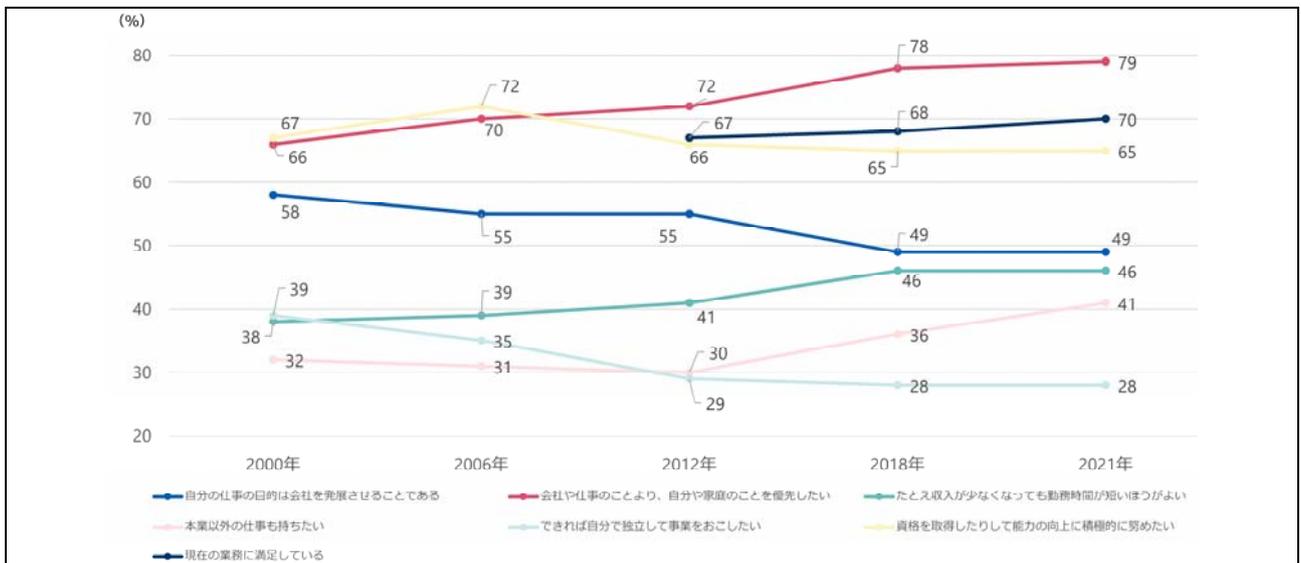
地域産業の更なる発展に向けては、新たな産業の創出が求められますが、白井工業団地などの市街化区域において、企業が立地を希望する空き用地が不足しているため、現状では新たな企業誘致が難しい状況です。地権者が主体となった新たな土地利用によるまちづくりが求められています。

また、市内の従業者数及び事業所数は増加傾向にあります。多様なライフスタイルに合った多様な働き方の実現など、魅力的な働く場の創出が望まれます。



(出典) 白井市資料より作成

図 事業候補地



(出典) NRI「生活者1万人アンケート調査」(2000年、2006年、2012年、2018年、2021年)

図 就業価値観の推移 (就労者のみ)

##### 【施策】

- 土地利用の見直しによる新たなにぎわいの創出
- 多様なライフスタイルに合った働き方の支援

(3) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。

	施策の柱(施策の目標)	施策
新しい産業が栄えるまち	1.地域産業が振興するまちづくり	(1) 市内産業の振興
		(2) 産業機能の向上の推進
	2.新たな産業でにぎわうまちづくり	(1) 土地利用の見直しによる新たなにぎわいの創出
		(2) 多様なライフスタイルに合った働き方の支援

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (4) 施策の概要と目標

##### 目標 5-1 地域産業が振興するまち

##### 施策 5-1-1 市内産業の振興

異業種・異分野間で交流し、連携を生む機会を作る取組を推進します。また、白井市の特産品を応援する取組や次世代技術を持つ者と連携し、まちづくりに活かす取組を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
新たな特産品の登録件数			白井市担当課調べ
市との協働により社会実装に向けて動いている案件数			白井市担当課調べ

##### 施策 5-1-2 産業機能向上の推進

産業の生産性の向上にも寄与する道路ネットワークの整備を推進します。また、幹線道路を強みとした企業誘致による産業の振興や工業団地の魅力発信など活性化に寄与する取組を推進します。

##### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
生産性向上に寄与する道路整備数			白井市担当課調べ
企業誘致件数			白井市担当課調べ

目標 5-2 新たな産業でにぎわうまち

施策 5-2-1 土地利用の見直しによる新たなにぎわいの創出

土地利用のあり方をエリア一帯で検討し、中心都市拠点・生活拠点を中心とした商業の活性化に寄与する企業誘致を推進します。また、特産品を販売するための拠点の整備やアグリビジネスを担う農業生産法人などの誘致を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
企業誘致件数(再掲)			白井市担当課調べ

施策 5-2-2 多様なライフスタイルに合った多様な働き方の支援

市内の産業への就労支援のみならず、場所に縛られずに働ける新たなビジネス形態による働き方を支援することで新たな市内産業スタイルを模索する取組を推進します。また、創業支援やスタートアップの育成をすることで新たな市内産業スタイルを模索する取組を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
創業者数※			白井市担当課調べ
就業率			国勢調査

※創業スクール、創業塾及びスマートワーク事業参加者のうち、創業した者の数（フリーランスとして独自収入を得た者を含む）

指標	目標値	現状値	出典等

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 3.6 災害に強いまち

目的	災害に強く、安全・安心を基盤に永く発展し続けるまちを目指します。
方針	そのために、既存のインフラの維持管理や修繕を着実に実行するとともに、既存施設の有効活用を推進します。

##### (1) 目指すまちに向けた目標

白井市の施設やインフラの多くは、千葉ニュータウン事業に伴い整備されており、今後修繕や更新のタイミングを迎えます。大規模災害に備えて、老朽化した施設・インフラへの対策が求められています。

また、災害時には、自分や家族だけでなく、地域、行政が連携して避難・復旧活動を行うことが求められており、平常時から連携体制を構築しておくことが重要です。

以上より、災害に強いまちの取組に向けた目標を掲げます。

目標 6-1 災害に強い施設・設備で守るまち

目標 6-2 災害時に共に支え合うまち

##### ◇成果指標

目標	指標	目標値	現状値	出典等
災害に強い施設・設備で守るまち	地震・台風などに備えた防災対策の満足度(「満足」「やや満足」割合)		11.2% 令和5年度	住民意識調査
災害時に共に支え合うまち	防災活動参加率(「既に取り組んでいる」「今後取り組みたい」割合)		34.4% 令和5年度	住民意識調査

(2) 目標に対する施策

目標 6-1 災害に強い施設・設備で備えるまち

【現況】

白井市では公共施設やインフラの老朽化が進み、適切に維持管理されなければ、大規模災害の発生時には甚大な被害が懸念されます。

また、平常時の住民の賑わいや憩いの場を、被災時に防災活動の拠点として機能するよう、既存ストックの活用が求められています。

表 耐震化率（住宅）

総棟数 a+b+c	昭和 56 年以前		昭和 57 年以降 (耐震性有) c	耐震化率 (b+c)/(a+b+c)
	耐震性無 a	耐震性有 b		
約 23,020	約 1,908	約 2,222	約 18,890	約 92%

※住宅の各戸数及び耐震化率は、平成30年住宅・土地統計調査（総務省統計局）をもとにした推計値です。  
 ※昭和55年以前に建築された住宅についても、耐震性があるものを推計し、耐震性有の住宅に含めています。

表 耐震化率（特定建築物）

特定建築物 区分	総棟数 a+b+c	昭和 56 年以前		昭和 57 年以降 (耐震性有) c	耐震化率 (b+c)/(a+b+c)
		耐震性無 a	耐震性有 b		
民間建築物	80	約 5	約 23	52	約 94%
市有建築物	32	0	13	19	100%
合計	112	約 5	約 36	71	約 96%

※民間建築物：固定資産税家屋課税台帳データ（平成27年1月1日現在）及び、建築台帳データ（令和4年1月1日現在）による。

※市有建築物：令和3年3月31日現在

※昭和55年以前に建築された特定建築物についても、耐震性があるものを推計し、耐震性有の特定建築物に含めています。

表 耐震化率（市有建築物）

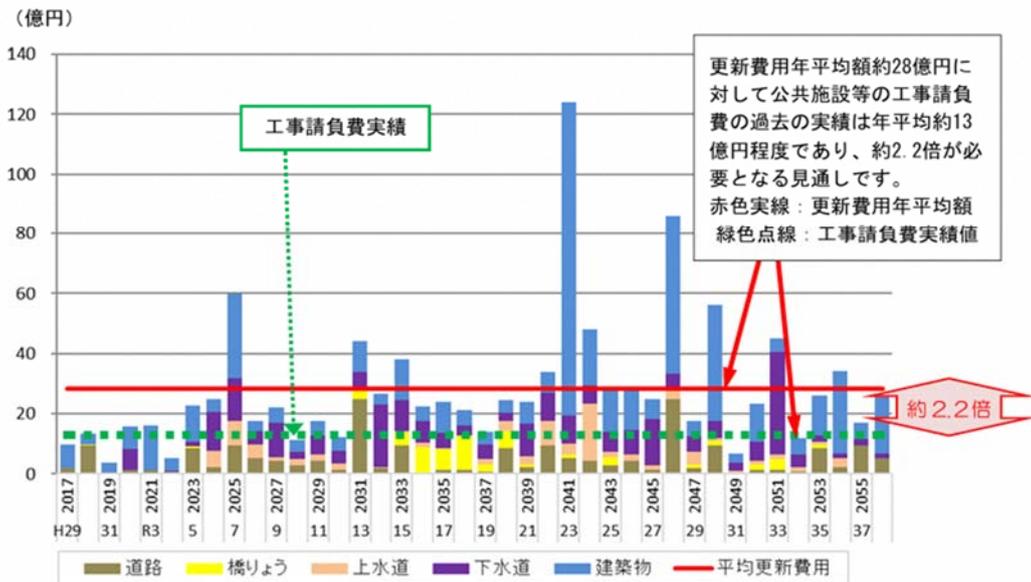
特定建築物 区分	総棟数 a+b+c	昭和 56 年以前		昭和 57 年以降 (耐震性有) c	耐震化率 (b+c)/(a+b+c)
		耐震性無 a	耐震性有 b		
特定建築物	32	0	13	19	100%
その他	43	4	10	29	約 91%
合計	75	4	23	48	約 95%

※令和3年3月31日現在

※主な市有建築物：鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの木造以外の構造で2階建て以上または床面積200㎡を超える市有建築物

Ⅲ. 前期基本計画

40年間の更新費用総額:1,129億円(年平均約28億円)



(出典)白井市公共施設等総合管理計画(令和4年3月)

図 公共施設等の更新費用推計(建築系及び土木系)



(出典)白井市

写真 富士公園

【施策】

- 施設やインフラの老朽化などへの対応
- 既存ストックを活用した防災機能強化

目標 6-2 災害時に自助・共助・公助で守るまち

【現況】

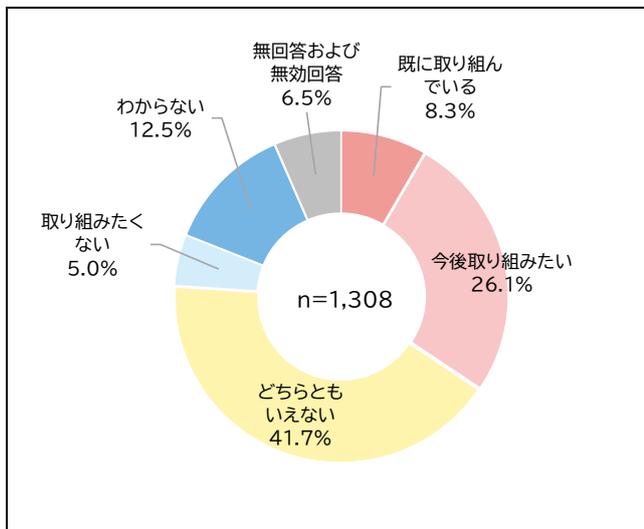
災害対策の基本的な考え方である「自助・共助・公助」は、自分や家族、地域、行政が連携して災害に備え、被害を最小限に抑えることを目的としています。現在白井市では、自治会等を主体として、自主防災組織の設立を支援しています。令和6年度当初では62の自主防災組織があり、世帯の70%をカバーしています（千葉県資料）。一方、防災活動の参加率は約8%となっています。

また、地震・台風などに備えた防災対策に関する満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて約11%に留まっています。



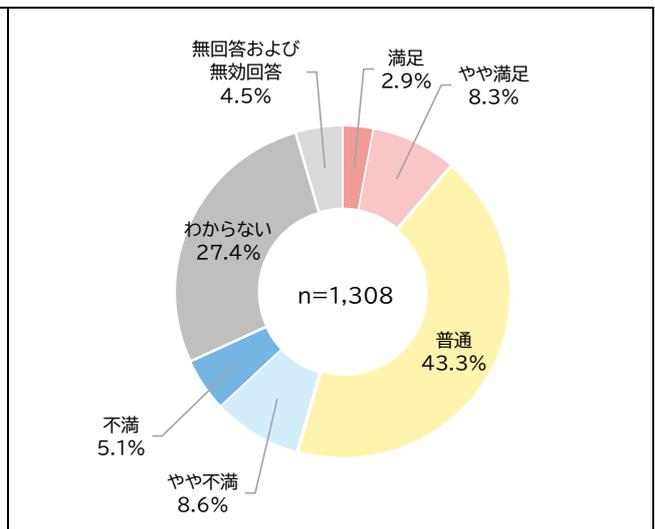
(出典) 白井市危機管理課

図 白井市総合防災訓練の様子



(出典) 白井市「第15回住民意識調査報告書」

図 防災活動参加率



(出典) 白井市「第15回住民意識調査報告書」

図 地震・台風などに備えた防災対策の満足度

【施策】

- 自助・共助・公助によって対応できる体制づくり
- 地域防災力向上の推進

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (3) 施策体系図

目標に対する課題を踏まえて、施策を次の体系図とおり示します。

	施策の柱(施策の目標)	施策
災害に強いまち	1.災害に強い施設・設備で守るまちづくり	(1) 施設やインフラの老朽化などへの対応
		(2) 既存ストックを活用した防災機能強化
	2.災害時に共に支え合うまちづくり	(1) 自助・共助・公助によって対応できる体制づくり
		(2) 地域防災力向上の推進

(4) 施策の概要と目標

目標 6-1 災害に強い施設・設備で守るまち

施策 6-1-1 施設やインフラの老朽化などへの対応

老朽化した公共施設や道路・下水道などのインフラの修繕を推進します。また、浸水リスクを軽減するために富士・南園地区に整備した用悪水路を活かし、雨水排水施設を整備します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
施設・インフラの修繕・整備等事業計画に対する進捗率※			白井市担当課調べ

※想定している実施計画事業の進捗率の平均

施策 6-1-2 既存ストックを活用した防災機能強化

指定避難所の避難所としての機能を充実させる取組を推進します。また、災害に備えての備蓄体制の強化を推進します。

施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
避難所の避難環境改善箇所数			白井市担当課調べ
地域防災計画で定める「備蓄目標量」の達成割合			白井市担当課調べ

### Ⅲ. 前期基本計画

#### 目標 6-2 災害時に共に支え合うまち

##### 施策 6-2-1 自助・共助・公助によって対応できる体制づくり

災害時に避難所の運営を行政と連携しながら、自治会や自主防災組織等の地元住民が主体的に実施できる体制づくりを推進します。また、市内の医療機関や関係機関等と連携した災害時の医療体制の整備を推進します。

###### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
地域防災訓練の実施数			白井市担当課調べ

##### 施策 6-2-2 地域防災力向上の推進

災害が発生した際に、被害を減らすために地域で助け合う体制の整備を推進します。

###### 施策目標

指標	目標値	現状値	出典等
防災に係る地域活動への参加率			住民意識調査

## 4. 施策展開にあたっての留意点

基本計画に示す施策を展開するために、事業を検討・実施する上での留意点を示します。

### (1) 新たな財源の創出

人口減少、少子化、高齢化などの社会問題の背景から市民税等のこれまでの税収による財源の確保については、年々厳しい状況に置かれることが予想されています。

このことから、白井市では新たな財源の確保として、市の地理的特性である下総台地の強固な地盤上に位置しているなどの地理的優位性などを活かした企業誘致を進める方向性です。

加えて、近年、官民連携（PPP/PFI）、企業版ふるさと納税、ネーミングライツ、クラウドファンディングのような新たな財源を創出する制度が生まれています。これらの手法は、住民や企業の協力を得て新たな資金を呼び込むことで、財政負担を軽減しつつ魅力ある事業展開を支えるものです。

今後の事業実施にあたっては、これらの新たな制度を積極的に活用し、これまでの自治体の財源に縛られずに、推進方策を検討し、実行に移すことが重要です。

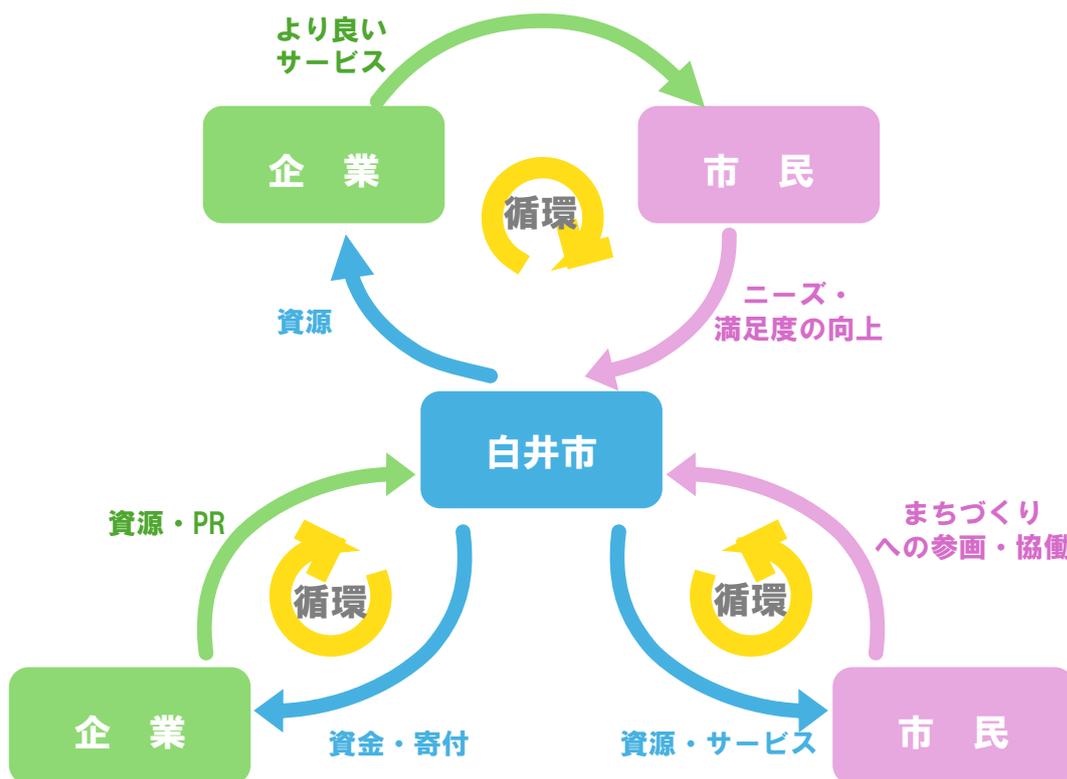


図 新たな財源の創出と循環イメージ

### Ⅲ. 前期基本計画

#### (2) 最適な組織組成による施策の推進

社会課題の多様化や市民ニーズの複雑化により、従来の縦割り行政では対応が難しくなっています。課題は複数の分野にまたがるが多く、個別部門の判断だけでは的確な対応が困難です。

個別部門に囚われず、最適な組織編成によって情報共有や連携を促進し、各部門の知見を融合し、全庁的な視点で政策を立案・実行する体制を構築することで、総合的かつ実効性のある取組の推進が求められます。

最適な組織編成によって、縦割りの弊害を解消し、柔軟かつ迅速な意思決定を促進することで、PDCA サイクルにおける取組の実効性 (Do) の向上だけでなく、計画 (Plan) の精度向上、評価 (Check) における多角的視点の確保、改善策 (Act) の検討と実施がスムーズに進むなどの効果が期待されます。また、職員同士の連携強化や人材育成にもつながり、庁内全体の組織力向上にも寄与します。

第6次総合計画では、「フロントランナー事業」を位置づけ、フロントランナー事業と関連事業が連携して取り組むことで、施策の推進を図ります。

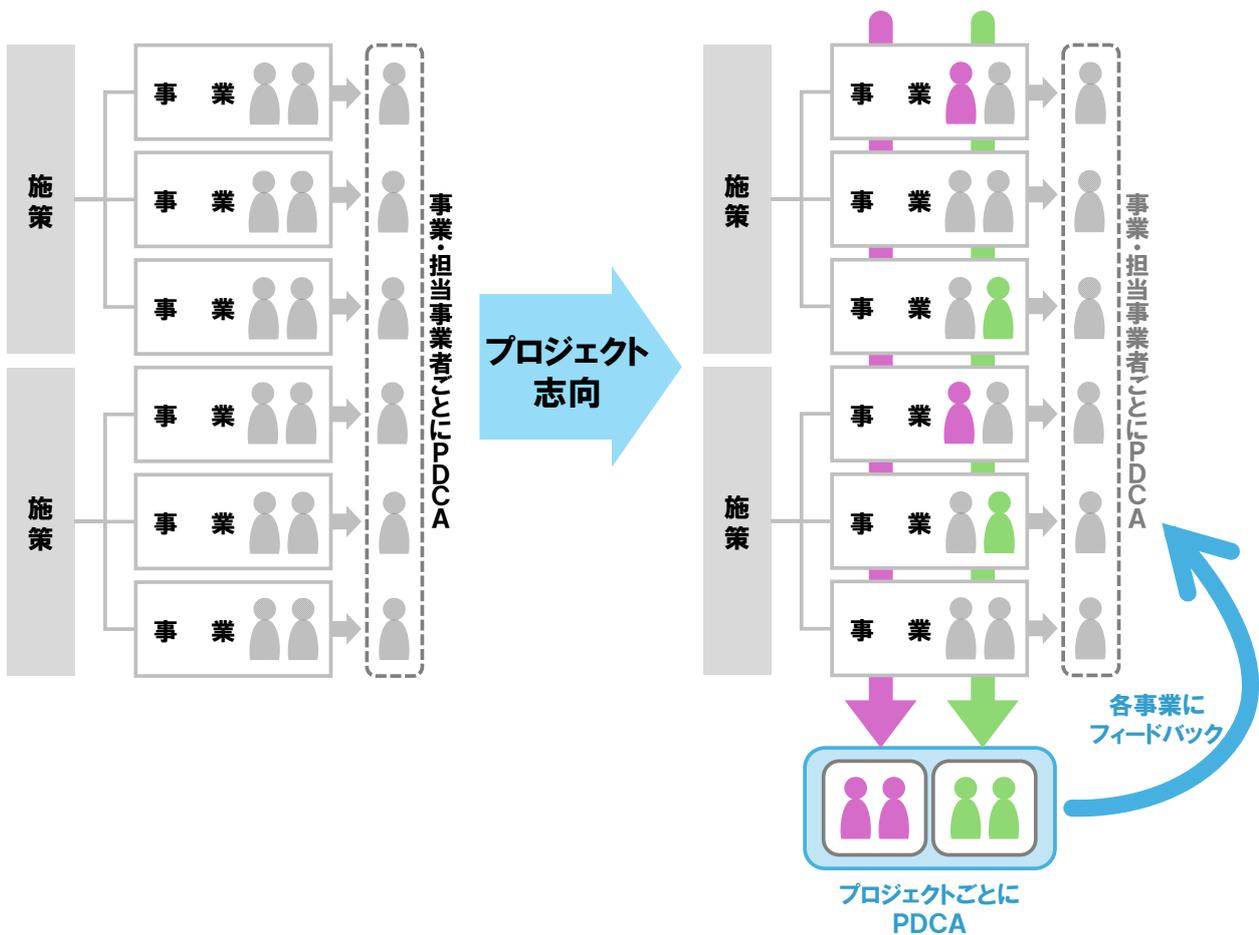


図 プロジェクト志向での組織編成の例

(3) シティプロモーション (PR)

総合計画で示した将来像や目指すべき姿は、住民や企業、外部の関係者に理解・共感してもらわなければ実現は困難です。シティプロモーション (PR) は、そうした理念や前期基本計画に基づいた各事業をわかりやすく伝え、地域内外の関係人口・協働主体を増やす上で有効な手段となります。

情報発信は、「マスメディア型」「インフルエンサー型」「シミュラークル型」など目的によって手法は多様ですが、シティプロモーションを実施する際には、単なる情報発信にとどまらず、「誰に、何を、どう伝えるか」を明確にし、地域の実情や課題、強みを踏まえた戦略的な展開が求められます。

シティプロモーションの展開には、広報部門だけでなく、企画・観光・子育て・教育など各部門が一体となって情報発信を行う体制を整えることが不可欠です。戦略的なシティプロモーションを展開していくためにも、庁内一体となった発信に向けて連携・運用体制の構築を進めるとともに、①「白井らしさ」の明確化、②ターゲットの明確化、③市民や関係主体との共感と参画の促進、④継続的な展開と成果の検証などについて検討していきます。

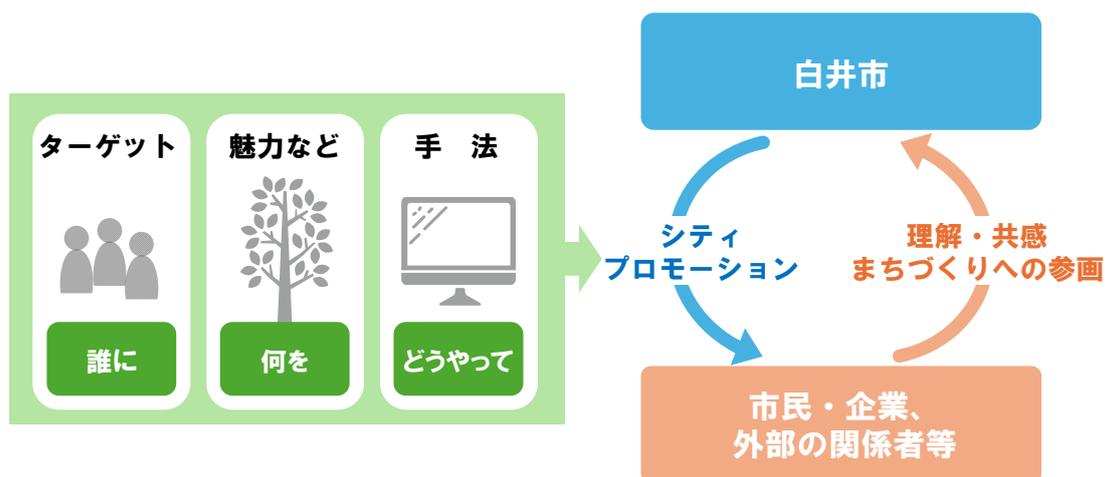


図 シティプロモーションのイメージ